



開院1年を迎えて

余市医師会
脳神経外科よいち港南クリニック 院長
村山直昭

平成23年4月1日に余市町に脳神経外科の無床診療所を開設し、現在約1年が経過したところです。このたび執筆の依頼をいただきましたので、開院してからのことを思いつくままに書いていこうと思います。

余市町は小樽市の西隣に位置する人口約2万1千人の町です。漁業や果樹の栽培などが盛んで、また北限の鮎の生息地でもあります。これからの季節はウニ漁が最盛期をむかえ、海水浴にたくさんの人が訪れ、とても良い季節をむかえます。

当院を受診される患者さんは余市町内の方が多くですが、余市町以外にも仁木町(約4千人)、岩内町(約1万5千人)、古平町(約4千人)、積丹町(約2千5百人)、赤井川村(約1千人)など遠方からも来られます。

余市町に開院した理由ですが、周辺町村には脳神経外科を標榜する施設がなく、余市以西の患者さんは小樽や札幌まで通院しなくてはなりません。この地域は北海道内でも豪雪地帯ですので、とくに冬季間は通院が困難となり丸一日かかることも珍しくありません。そうした患者さんの肉体的、経済的負担を少しでも軽減できればと思い余市町に開院しました。余市町での勤務経験はなく不安の大きいスタートでしたが、余市医師会の緒先生方のご協力もあり、なんとか大きな問題なくやってくることができました。余市医師会は会員総数33名で永井会長を中心にまとまっており、学術、親睦の交流がさ

かんで、とても魅力的な医師会です。当院の開業に際しましても温かく歓迎していただき、とても感謝しています。

脳神経外科のメジャーな疾患である脳血管障害は、高血圧や糖尿病、脂質代謝異常のような生活習慣病に起因することが多いのですが、残念ながらこれらのリスクファクターを放置していたり、管理が不十分なために脳卒中を発症、再発してしまう患者さんがたくさんいます。これらの患者さんを少しでも減らすことを目標とし、予防に重点をおいた診療や講演会活動を行ってきました。この1年間を振り返ってみますと、まだまだ努力不足の感はありますが、少しずつ患者さんに浸透してきているようです。

話は変わりますが、看護師不足は地方ほど厳しく、余市町も例にもれず大変厳しい状況にあります。そんななか、最近ようやく看護師を1人増員することができました。ハード、ソフト面とも少しずつ整ってきており、さらに体制を強化するべく努力しているところです。今後も気軽に受診できる脳疾患の専門クリニックとして、患者さんの便宜を図っていきたいと思っています。

最後に微力ではありますが、余市町、後志地区の地域医療に末永く貢献できればと考えておりますので、皆様よりのご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしく願いいたします。

